

ニセコの未来を整備する

Vol. 65 ニセコ町国営農地再編整備事業
促進期成会レター

整備面積:1,490ha
事業期間:平成26年(2014年)から10年間(予定)

百聞は一見にしかず Vol.11

～令和元年度期成会視察研修報告～

期成会では、令和元年11月1日に国営農地再編整備事業に参加している農家18人と関係者のみなさんと、令和元年度に町内で工事をしたほ場の視察研修を行いました。この研修にはJAようてい、事務局、後志中部農業事業所も参加し、畑の傾斜を改良した工事と水田を大きく広げた工事の2か所ずつ計4か所を視察しました。天候が悪く、一部車内での説明になりましたが、4か所の工事ごとに参加者と工事担当の開発局職員の間で質疑応答が行われました。

今回の視察で自分たちのほ場を良くするためには、どのような整備をする必要があるのかイメージすることができました。



バス車内からの説明



現地で整備したほ場の説明

■問合せ/国営農地再編整備事業促進期成会事務局
(国営農地再編推進室内) Tel 0136-44-2121 担当=辻・鶴間

ニセコの未来を整備する

Vol. 66 ニセコ町国営農地再編整備事業
促進期成会レター

整備面積:1,490ha
事業期間:平成26年(2014年)から10年間(予定)

水田整備(用水路)の紹介

国営事業の工事が始まり6年目を迎えています。毎年少しずつ農地が整備されており、計画の3分の1程度の面積が完成しました。今回は水田の整備をする際に欠かせない用水路について紹介します。用水路とは水田に水を入れるための水路です。この水路に水が流れないと稲の成長に大きく影響します。今までの町の用水路は土水路と呼ばれる地面を掘って作った水路が多く、浸透してしまったり、漏れてしまったりして用水をすべて流すことができませんでした。国営事業では、整備区域内の水田と隣接する水路の整備ができるため、すべての用水を流せるようにコンクリート製の水路を整備しています。水の流れも良くなり、流れてきた土砂の撤去もしやすく、利用する農家の維持管理もしやすくなりました。水田も大きくなり作業の効率も良くなりました。今後も工事の進捗とあわせて報告していきます。



整備前の用水路のようす



整備後の用水路のようす

■問合せ/国営農地再編整備事業促進期成会事務局 (国営農地再編推進室内)
Tel 0136-44-2121 担当=辻・鶴間

ニセコの未来を整備する

Vol.
64

ニセコ町国営農地再編整備事業
促進期成会レター

整備面積:1,490ha
事業期間:平成26年(2014年)から
10年間(予定)

中央要請活動を行いました!!

11月5日に、期成会会長、町長、議長と事務局の計4人で上京し、国営緊急農地再編整備事業ニセコ地区の重要性とその効果、令和2年度の予算計上に向け、道内選出国議員および農林水産省、財務省、国土交通省北海道局に対し要請活動を実施しました。11月11日には、町長、農政課長、事務局の計3人で「農業農村整備の集い」に参加して、来年度の農業農村整備事業予算確保に向けての活動を行っています。

これからも来年度以降の計画的な事業実施に向けて、中央省庁への要請活動などを継続し、一層強力に国営農地再編整備事業を推進していきます。

埋蔵文化財保護のために試掘調査を実施!

北海道教育庁が、国営農地再編整備事業が埋蔵文化財に影響を与えるかどうかを判断するため、整備する農地を対象に「試掘調査」を実施しました。この試掘調査は前年度の収穫後に農地を歩き、調査を実施するポイントを決定します。

調査では、重機と人力によって、約20メートル間隔で1~2メートル四方の広さで深さ50センチ程度の小規模な試掘をして、試掘した土、断面の確認を行い遺構や遺物の有無、時期、深さ、密度、土層の堆積状況について詳しく調べます。

調査には、北海道教育庁のほか、町教育委員会、小樽開発建設部および町国営農地再編推進室が同行します。今後も埋蔵文化財の保護のため、毎年実施していきます。



北海道教育庁による試掘断面の確認



試掘した土の確認

■ 問合せ / 国営農地再編整備事業促進期成会事務局
(国営農地再編推進室内)

Tel 0136-44-2121 担当 = 辻・鶴間

ニセコの未来を整備する

Vol. 63 ニセコ町国営農地再編整備事業
促進期成会レター

整備面積:1,490ha

事業期間:平成26年(2014年)から10年間(予定)

地区推進委員会を開催しました

地区推進委員会は、国営農地再編整備事業(以下、事業)を円滑に進めるため、町内各地区(8地区)で事業に参加している農家や関係者とさまざまな課題や計画について協議する場として組織しています。今回は、10月23日から10月31日まで全8地区7会場で開催し、計42人の農家が出席しました。

委員会では、事務局が今年度の報告事項を説明し、協議事項を審議したのちに、小樽開発建設部がこれまでの工事と測量設計業務の進捗状況、来年の工事までに必要な準備などを説明しました。令和2年度はほ場の工事や測量設計業務を予定しています。その後、意見交換や質疑応答が行われました。

今後とも来年度以降の計画的な事業実施に向け、中央省庁への要請活動なども実施し、一層強力に運動を推進していきます。



宮田地区推進委員会のようす



西富地区推進委員会のようす

■ 問合せ / 国営農地再編整備事業促進期成会事務局
(国営農地再編推進室内)

Tel 0136-44-2121 担当 = 辻・鶴間

ニセコの未来を整備する

Vol.
61

ニセコ町国営農地再編整備事業
促進期成会レター

整備面積:1,490ha
事業期間:平成26年(2014年)から
10年間(予定)

平成31年度国営農地再編整備事業 促進期成会総会を開催しました!

平成31年度の期成会総会を4月10日に町民センターで開催しました。総会には来賓として中村裕之衆議院議員秘書をはじめ、片山町長、高橋町議会議員、ようてい農業協同組合地区担当理事ならびにニセコ支所長にもお越しいただき、各地区の代表・副代表、小樽開発建設部後志中部農業開発事業所など関係者29人が出席のもと、平成30年度の事業報告および事業決算のほか、平成31年度の事業計画や予算案、促進事業積立金に関する内容について審議を行い、承認されました。

事業を進める小樽開発建設部からは、職員の紹介や平成31年度の事業内容、今後の事業スケジュールの説明がされ、多くの意見交換が行われました。

今年は工事が着手され5年目をむかえますが、来年度以降の工事に向け、期成会としてより一層強力に運動を推進していきます。



片山町長の来賓挨拶



促進期成会総会の様子

■問合せ

国営農地再編整備事業促進期成会事務局(国営農地再編推進室内)
Tel 0136-44-2121 担当=辻・鶴間

ニセコの未来を整備する

Vol.
62

ニセコ町国営農地再編整備事業
促進期成会レター

整備面積:1,490ha
事業期間:平成26年(2014年)
から10年間(予定)

地区推進委員会を開催しました

地区推進委員会は、国営農地再編整備事業(以下、事業)を円滑に進めるために、町内各地区(8地区)で事業に参加している農家や関係者とさまざまな課題や計画について協議する場として組織しています。今回は4月15日から25日までに全8地区7会場で開催し、合計43人の事業に参加している農家が出席しました。

委員会では、事務局から本年度の期成会の事業計画や促進事業などの説明を行い、小樽開発建設部から本年度実施する内容や工事および設計業務を行うほ場の説明がありました。そのほか今後の事業の計画や進捗などについての説明があり、質疑応答や意見交換を行いました。

これからも来年度以降の計画的な事業推進に向けて、中央省庁への要請活動などを行っていきます。



ニセコ地区推進委員会の様子



里見地区推進委員会の様子

■問合せ/国営農地再編整備事業促進期成会事務局
(国営農地再編推進室内)

Tel 0136-44-2121 担当=辻・鶴間

～ニセコの未来を整備する～

ニセコ町国営農地再編整備事業
促進期成会レター Vol.60

整備面積：1490ha
事業期間：平成26年から
10年間（予定）

中央要請活動を行いました！！

11月8日に、期成会会長、町長、議長と事務局の4人で上京し、国営緊急農地再編整備事業ニセコ地区の重要性とその効果、平成31年度予算計上に向け、道内選出国会議員および農林水産省、財務省、国土交通省北海道局に対し要請活動を実施しました。これから来年度以降の計画的な事業実施に向けて、中央省庁への要請活動なども継続し、一層強力に運動を推進していきます。

埋蔵文化財保護のために試掘調査を実施！

国営農地再編整備事業が埋蔵文化財に影響を与えるかどうかを判断するため、整備する農地を対象に「試掘調査」が北海道教育庁により実施されています。この試掘調査は前年度の収穫後に農地を歩き、調査を実施するポイントを決定しています。

調査では、重機と人力によって、約20m間隔で1～2m四方の広さで深さ50cm程度の小規模な試掘をして、試掘した土、断面の確認を行い遺構や遺物の有無、時期、深さ、密度、土層の堆積状況について詳しく調べます。

調査には北海道教育庁のほか、ニセコ町教育委員会、小樽開発建設部およびニセコ町国営農地再編推進室が同行し、収穫後の農地で調査を実施します。今後も埋蔵文化財の保護のため、毎年実施していきます。



北海道教育庁による試掘断面の確認



試掘した土の確認

■問合せ 国営農地再編整備事業促進期成会事務局
(国営農地再編推進室内)

☎0136-44-2121 担当=辻・鶴間

～ニセコの未来を整備する～

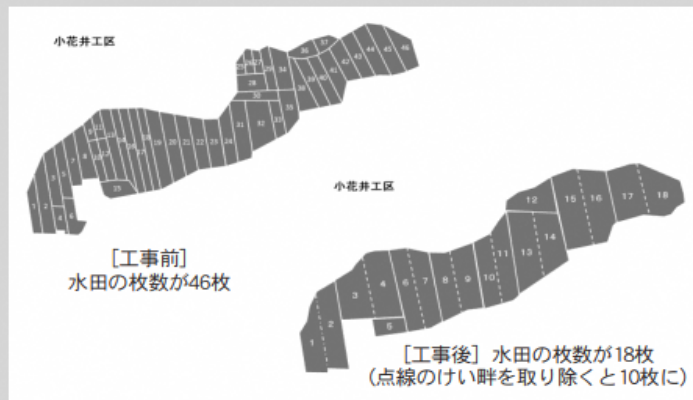
ニセコ町国営農地再編整備事業
促進期成会レター Vol.58

整備面積：1490ha
事業期間：平成26年から
10年間（予定）

平成29年度に整備した工事を紹介します

国営事業の工事が始まり今年で4年目を迎えました。平成29年度は28か所で137ha（札幌ドーム約25個分）の工事を行いました。平成29年度に整備した工事の中で、1つのブロックが14haになる大規模な整備となったほ場を紹介します。

ほ場の状況は、水田が全部で46枚もあり、小さくて形も悪い状態でした。整備は地形条件に合わせて可能な限り水田を大きくし、18枚に整備を行っています。隣の水田と同じ高さに整備して、真ん中にあるけい畔を取り除くとさらに水田が大きくなり、水田の枚数を10枚まで減らすことができますようになります。水田を大きくすることで、作業の効率が良くなります。今後も工事の進行とあわせて紹介していきます。



■問合せ 国営農地再編整備事業促進期成会事務局
(国営農地再編推進室内)

☎0136-44-2121 担当=辻・鶴間

～ニセコの未来を整備する～

ニセコ町国営農地再編整備事業
促進期成会レター Vol.59

整備面積：1490ha
事業期間：平成26年から
10年間（予定）

地区推進委員会を開催しました

地区推進委員会とは、事業を円滑に推進するために、町内各地区（8地区）において受益者と関係者でさまざまな課題や計画について協議する場として組織しています。今回は、10月2日から10月24日まで全8地区7会場で開催され、計40名の受益者が出席しました。

委員会では、小樽開発建設部から平成31年度に工事の施工を予定しているほ場やこれまでの事業の進捗、工事や業務で課題となっていた内容を検討した結果が説明され、その後、意見交換、質疑応答が行われました。これからも来年度以降の計画的な事業実施に向けて、中央省庁への要請活動なども実施し、一層強力に運動を推進していきます。



ニセコ地区推進委員会のようす



里見・有島・元町地区推進委員会のようす

■問合せ 国営農地再編整備事業促進期成会事務局（国営農地再編推進室内）

☎0136-44-2121 担当=辻・鶴間

～ニセコの未来を整備する～

ニセコ町国営農地再編整備事業
促進期成会レター Vol.56

整備面積：1490ha
事業期間：平成26年から
10年間（予定）

平成30年度ニセコ町国営農地再編整備事業促進期成会総会を開催しました

平成30年度の期成会総会を4月10日に町民センターで開催しました。総会にはご来賓として中村裕之衆議院議員秘書をはじめ、林副町長、高橋町議会議長、ようてい農業協同組合ニセコ支所長にお越しいただき、各地区の代表、副代表、小樽開発建設部など関係者30人が出席のもと、平成29年度の事業報告および事業決算のほか、平成30年度の事業計画や予算案、促進事業積立金に関する内容について審議を行い、承認されました。

事業を進めていく小樽開発建設部後志中部農業開発事業所からは、職員の紹介や平成30年度の事業内容の説明がされ、多くの意見交換が行われました。

今年は工事が着手され4年目を迎えますが、来年度以降の工事に向け、期成会としてより一層強力に運動を推進していきます。

■問合せ 国営農地再編整備事業促進期成会事務局（国営農地再編推進室内）
☎0136-44-2121 担当=辻・鶴間



高橋町議会議長の来賓あいさつ



促進期成会総会の様子

～ニセコの未来を整備する～

ニセコ町国営農地再編整備事業
促進期成会レター Vol.57

整備面積：1490ha
事業期間：平成26年から
10年間（予定）

地区推進委員会を開催しました

地区推進委員会とは、事業を円滑に推進するために、町内各地区（8地区）で受益者や関係者とさまざまな課題や計画について協議する場として組織しています。今回は4月16日から4月26日までに全8地区で開催され、合計48人の受益者が出席しました。

委員会では事務局から平成30年度の期成会の事業計画や促進事業などの説明が行われ、小樽開発建設部から平成30年度の年度実施内容や工事および設計業務を行うほ場の説明がされました。そのほかにも工事を進める上での課題や事業の進捗などについての説明があり、質疑応答や意見交換も行われました。

これからも来年度以降の計画的な事業推進に向けて、中央省庁への要請活動なども行っていきます。



福井地区推進委員会のようす



里見地区推進委員会のようす

■問合せ 国営農地再編整備事業促進期成会事務局
（国営農地再編推進室内）

☎0136-44-2121 担当=辻・鶴間

～ニセコの未来を整備する～

ニセコ町国営農地再編整備事業
促進期成会レター Vol.53

整備面積：1490ha
事業期間：平成26年から
10年間（予定）

地区推進委員会を開催しました

地区推進委員会とは、事業を円滑に推進するために、町内各地区（8地区）において受益者と関係者でさまざまな課題や計画について協議する場として組織しています。今回は、10月10日から10月19日まで全8地区で開催され、計41人の受益者が出席しました。

委員会では、小樽開発建設部から平成30年度に工事の施工を予定しているほ場や今までに課題となっていた内容を検討した結果が説明され、その後、意見交換や質疑応答が行われました。これからも来年度以降の計画的な事業実施に向けて、中央省庁への要請活動なども実施し、一層強力に運動を推進していきます。



西富地区推進委員会のようす



近藤地区推進委員会のようす

■問合せ 国営農地再編整備事業促進期成会事務局
(国営農地再編推進室内)

☎0136-44-2121 担当=辻・鶴間

～ニセコの未来を整備する～

ニセコ町国営農地再編整備事業
促進期成会レター Vol.54

整備面積：1490ha
事業期間：平成26年から
10年間（予定）

百聞は一見にしかずVol.10 ～平成29年度期成会視察研修報告～

期成会では、平成29年11月2日に受益者19人と事務局、後志中部農業開発事業所が参加し、平成29年度にニセコ町で工事を行ったほ場を対象に視察研修を行いました。

今回の研修では現地で水田の形が悪くて作業がやりにくかったり、小さな水田が多くて作業に時間がかかったり、また畑が斜めで機械が走りづらかったり、水はけが悪くて機械が埋まってしまったりして条件の悪かったほ場が整備されて使いやすくなった状況を、整備する前と後の図面を見ながら確認しました。

今回の研修で自分たちのほ場を良くするためには、どのような整備をする必要があるのかをイメージできるような研修を行うことができました。



現地での説明のようす



整備ほ場を一望しているようす

■問合せ 国営農地再編整備事業促進期成会事務局
(国営農地再編推進室内)

☎0136-44-2121 担当=辻・鶴間

～ニセコの未来を整備する～

ニセコ町国営農地再編整備事業
促進期成会レター Vol.55

整備面積：1490ha
事業期間：平成26年から
10年間（予定）

伊達地区の期成会がニセコ地区を視察!!

ニセコ地区も事業が開始され今年で5年目を迎えます。他の地区の期成会がニセコ地区を視察に訪れる機会が増えています。視察の対応は荒木期成会会長と期成会会員、後志中部農業開発事業所の担当で対応しています。

視察の内容はニセコ地区の事業が始まるまでの調整や苦労したこと、事業に参加する受益者の整備区域の取りまとめなど、多くの内容について意見交換を行っています。そのほかにもニセコ地区で整備したほ場を現地で確認しながら整備の状況を説明しています。

これからも他の地区の視察の受け入れを行い、さまざまな情報交換や交流を深めながら、より良い基盤整備事業になるように活動していきます。



伊達地区期成会の視察のようす



さまざまな意見交換が行われました

■問合せ 国営農地再編整備事業促進期成会事務局
(国営農地再編推進室内)

☎0136-44-2121 担当=辻・鶴間

～ニセコの未来を整備する～

ニセコ町国営農地再編整備事業
促進期成会レター Vol.50

整備面積：1490ha
事業期間：平成26年から
10年間（予定）

地区推進委員会を開催しました

地区推進委員会とは、事業を円滑に推進するために、町内各地区（8地区）において受益者と関係者で様々な課題や計画について協議する場として組織しています。今回、4月17日から27日までに全8地区で開催され、計52人の受益者が出席しました。

委員会では事務局から平成29年度の期成会の事業計画や促進事業などの説明が行われ、小樽開発建設部から平成29年度の年度実施内容や工事および設計業務を行うほ場の説明がされました。

これからも来年度以降の計画的な事業促進に向けて、中央省庁への要請活動なども行っていきます。



曾我地区推進委員会のようす



ニセコ地区推進委員会のようす

■問合せ 国営農地再編整備事業促進期成会事務局
(国営農地再編推進室内)

☎0136-44-2121 担当=辻・鶴間

～ニセコの未来を整備する～

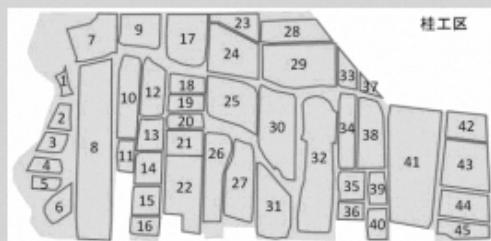
ニセコ町国営農地再編整備事業
促進期成会レター Vol.51

整備面積：1490ha
事業期間：平成26年から
10年間（予定）

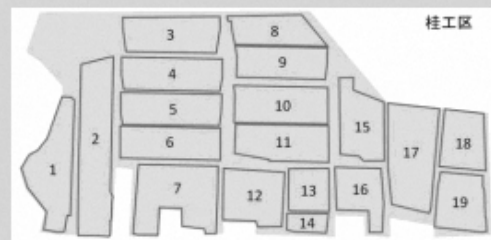
平成28年度に整備した工事の紹介

国営事業の工事が着手されてから2年が経過しました。平成28年度は26ブロックで72haの工事を行っています。平成28年度に行った工事の中で、1つのブロックが10haを超える大規模な整備となったほ場を紹介します。

ほ場の状況は複数の水田や畑が入り乱れた状態で、ほ場の大きさも小さく形も不整でした。整備は、地形条件に合わせて可能な限りほ場を大きくして、形を良くできるようにほ場の整形を行っています。今後も工事の進捗とあわせて報告していきます。



【工事前】ほ場が小さくて形が良くない



【工事後】ほ場が広くて形が良い

■問合せ 国営農地再編整備事業促進期成会事務局
(国営農地再編推進室内)

☎0136-44-2121 担当=辻・鶴間

～ニセコの未来を整備する～

ニセコ町国営農地再編整備事業
促進期成会レター Vol.52

整備面積：1490ha
事業期間：平成26年から
10年間（予定）

国営事業を知ってもらえるように!! ニセコ高校への教育支援パートナーシップ

平成27年3月に北海道ニセコ高等学校（以下ニセコ高校）と北海道開発局小樽開発建設部（以下開発局）との間で教育支援パートナーシップ協定が結ばれています。

本年度はニセコ高校の1年生を対象に、国営事業で整備をしている工場現場の見学と環境に配慮されているかの確認のため、水質や水生昆虫の調査を行いました。

教育支援パートナーシップ協定とは、ニセコ高校の農業科学コースの生徒に、農業に関する基礎学力と規範意識を持った、優れた産業人の育成のために出前講座や指導および助言をするもので、生徒が専門的な知識を得る機会にもなります。これからも農地整備の工事は続きますので、生徒たちに環境に配慮した取り組みなど国営事業に関心を持ってほしいです。

教育支援パートナーシップは来年も引き続き行われますので、これからも国営事業の内容を多くの生徒や町民に知ってもらうための広報活動を行っていきます。



工場現場の見学のようす



水生昆虫の調査のようす

■問合せ 国営農地再編整備事業促進期成会事務局
(国営農地再編推進室内)

☎0136-44-2121 担当=辻・鶴間